

平成 30 年度横浜国際プール 地域懇談会報告書

開催日 平成 30 年 12 月 15 日(土)15 時 00 分～16 時 40 分

会 場 横浜国際プール 館長室

出席者 ※敬称略

北山田町内会 会長	
ララヒルズ自治会 役員	
都筑区体育協会 副会長	
都筑スポーツプランナー 竹の子会 副委員長	
子育て支援グループ ドリーム	
北山田商業振興会 副会長	
都筑区社会福祉協議会 事務局長	
<以下、事務局>	
伊藤 保則	(公財)横浜市体育協会 地域スポーツ・施設経営局長
田中 勇	(公財)横浜市体育協会 施設経営部長
吉田 文雄	(公財)横浜市体育協会 国際プール館長
林 泰山	(株)コナミススポーツクラブ 横浜国際プール 支配人
塚越 義秀	(株)トーリツ 維持管理総括責任者
榮 雄太	(公財)横浜市体育協会

1、開会

2、ご挨拶

伊藤局長より

3、施設紹介および事業紹介

吉田館長より

4、施設見学

メインアリーナ観客席、会議室・役員室、サブプール、サブアリーナ、トレーニングルーム、林浴の庭、多目的コート、多目的ホール

5、意見交換

委 員: サブアリーナと会議室の稼働率はどのくらいか。

事務局: サブアリーナは 90%ほどで、ほぼ教室で埋まっています。会議室は 60～70%となっています。

委 員: 年に1回であるとか、地域に無料開放できないか。

事務局: 検討します。

委員: 駐車場の中に「空」案内表示があるとよい

事務局: 大がかりなことなので、予算含めて横浜市と相談が必要ですが、検討します。

委員: 国際大会が少ない。

事務局: 誘致に多額の費用が掛かるので、行政などの支援が不可欠となるため少なくなっています。

委員: 以前はレストランをやっていたが、今はどうなっているのか。

事務局: レストランとしては営業が厳しいため、現在はトレーニング施設として活用しています。

委員: 施設として目指す方向は、ガンガン稼ぐことを目指しているのか、それとも公共施設として、市民の施設を目指しているのか。

事務局: 市民のための施設として、「する・みる・ささえる」を広げていきます。

委員: 意外と知らない人が多い。

委員: ケータリングを持ち込み多目的ホールでパーティーが開催できるとよい。

事務局: 市民利用施設として、飲酒については検討が必要です。

委員: 花見ができるといい。

事務局: 場所取りや飲酒など、ルール作りが必要です。検討します。

委員: プールの水抜きはどのくらいかかるのか

事務局: 一度に抜くと近隣の下水道があふれる危険性があるので、2日程かけて抜いています。

委員: 施設の周りをたむろする若者がいる。

事務局: 常駐の警備員が定期的に巡回し、発見時には声をかけています。

委員: 地域に職員を派遣してもらい、体操指導などをしてもらいたい。

事務局: 体育協会として担当する部署があるので、そちらより派遣は可能です。

委員: 車いすの方に対して、エレベーターの導線はわかりやすいのかなと感じた。

事務局: 館内であれば、点字ブロックとも連動しています。また、各出入り口付近には、案内版を設置しています。わかりやすい表示について、検討します。

6、閉会